

会長メッセージ

環境ソリューションのリーディングカンパニーとして、
持続可能な社会への貢献と成長を目指し続けます

代表取締役 会長
夏井 博史

空調のパイオニアとして築いてきた50年超の歴史

新日本空調の歴史は、1930年、前身である東洋キャリア工業が米国キャリア社との合併企業として誕生したことに始まります。世界で初めて空調機を開発したウィリス・キャリア博士は「高温多湿な日本には、産業の発展のためにも、保健衛生のためにもエアコンディショニングが不可欠」との信念のもと、日本での事業を立ち上げました。

東洋キャリア工業は、日本で初めての本格的な超高層ビルとされる霞が関ビルや、東海村の原子力研究所に導入された原子炉施設などで、空調施工に関する多くの「日本初」を手掛けてきました。一方で海外への展開も早く、古くは南満州鉄道の全列車空調や関釜連絡船の全船空調などで「世界初」を実現し、その後も中近東やアフリカでのプラント関連事業を進めてきました。

そして1969年、東洋キャリア工業の工事業部門が分離独立し、誕生したのが新日本空調です。高度成長期に建設されたビルが、昭和60年代や平成に入り空調設備の更新期を迎える中、当社は霞が関ビルや世界貿易センタービル、新宿三井ビルなど、名だたる超高層ビルのリニューアル工事でも先鞭をつけてきました。テナント様が入居されている建物において、「既存の設備を活かしながら、中身を新しいものに更新する」というノウハウは、私たちが業界をリードして築き上げてきたものです。

こうして振り返ると、当社の歴史は、パイオニア精神と技術者魂を土台にした積極果敢なチャレンジの連続だったと感じます。それにより、お客様からの厚い信頼を得て、日本における空調のパイオニアとしての確たる地位を築いてきました。背景には、キャリア博士の信念の根底にある「企業は社会の公器であり、その事業を通じて社会に貢献する」という経営思想で、それは当社のDNAとして現在まで脈々と受け継がれています。

自社のパーパスを見つめ直し、企業理念を刷新

当社では、創立50周年の節目を迎える2019年に、若手・中堅従業員が中心となって企業理念体系を刷新しました。従来の企業理念や行動指針は、会社がつくり、従業員はその提示を受けるという関係性のもとにありました。しかし、私たちが次の50年の発展を目指していく上で、事業の担い手である従業員自らが自社の存在意義（パーパス）を見つめ直すことが不可欠でした。特に、当社グループの将来を支える若い世代の声を重視して対話を深め、当社の「使命」と「価値観」を明らかにしています。

使命は「社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満す。Fill your tomorrow」という言葉に集約し、社会への約束として、当社グループのパーパスを明確にしました。また、価値観には「調和」「探究」「真摯」「絆」の4つを掲げ、当社グループならではの価値創造とステークホルダーとの関係構築を通じて、私たちが大切にしていくものを示しています。

新企業理念と並行して議論を重ね、10年間にわたる長期ビジョンとして策定したのが「SNK Vision 2030」です。その基本方針では、「持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向け、ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団」を目指していくことを宣言しています。

2030年は決して遠い未来ではなく、現在の延長線上にあつという間に訪れるものと感じています。しかし、その限られた時間の中で、地球環境や産業・経済、人々の暮らしには非常に多くの変化が起きるでしょう。建築設備に求められる役割がどのように変わっていくかに、私たちは常にアンテナを張り、先んじて対応していかなければなりません。

2020年以降広がったコロナ禍は、当社の事業に大きな影響を与えた一方、テレワークの急速な拡大によって、従業員一人ひとりが自社のパーパス、そして個々のパーパスに向き合う機会が生まれました。社会の中で当社グループとはどのような存在なのか。自分自身はそこでどんな役割を果たしていくのか。新たな企業理念のもと、各従業員が自分の人生や仕事の意義をあらためて考え始めていると感じています。

また同時に、そうした中で当社グループ従業員が「新日本空調グループに入社して本当に良かった」という想いを持てるような組織づくりこそ、経営者として追求していくべきものと考えます。



既存事業の深化と、イノベーションの創出により さまざまなサステナビリティ課題に貢献

今日、私たちを取り巻く環境変化は激しさを増しています。グローバル化が進展する状況においては、経済危機や戦争、感染症といった問題が瞬く間に世界に波及し、甚大な影響をもたらすことが露呈しました。また、気候変動やそれに伴う自然災害の多発も深刻化しています。

こうした中、ESGに配慮した経営やサステナブルなビジネスモデルは一層重要性を増しています。当社が扱う空調・衛生・電気・防災などの設備システムは、設計・施工からメンテナンス、リニューアル、そして建替えまでの建物のライフサイクルにおいて、エネルギー消費に深く関わっています。いわば、当社の事業そのものがサステナビリティに直結しているということです。

「SNK Vision 2030」では、事業活動を通じて目指す将来像として、「健康的な生活」「安全性・生産性の高い産業」「設備の長寿命化」「気候変動問題への貢献」の4つがあると考えています。当社のお客様やさらにその先にいる人々が幸福で健やかに暮らせるよう支えること、空調のパイオニアとして築き上げた独自技術で多様な産業のニーズに応えること、お客様の資産となる設備システムを長期にわたって維持・保全に関わっていくこと、そして、効率化・省エネ化につながる技術開発で環境課題の解決に寄与することです。

これらを貫くのは、「持続可能な社会に貢献し続ける企業でありたい」という、変わらない想いです。そのためにベースとなる多くの要素技術を、私たちは50年超の歴史の中で培ってきています。今回の新型コロナウイルス感染症の拡大に際しては、飛沫や飛沫核の挙動を捉えることができる当社独自の「微粒子可視化システム」が、オフィスや店舗、医療機関などさまざまな場で活用されました。これもまた、技術力を通じて人々の健康を支え、生活環境の改善という喫緊の課題に貢献する事例になったと考えています。

私たちは、既存事業を深化させてより強固な基盤をつくりつつ、イノベーションによる新たな成長機会を探求していかなければなりません。当社単体では対応できない分野では、社外との連携が有効なことも多々あるでしょう。最近では、技術開発研究所（長野県茅野市）を中心に、産学官連携での共同研究開発も増えています。多様なパートナーとの連携のもと、事業成長とサステナビリティ課題への貢献を両輪で目指し続けるのが、私たちが進む道です。

たゆまぬ挑戦を重ね、新日本空調グループならではの価値提供へ

当社グループは、いろいろなお客様から「真面目で誠実、実直な人が多い」と評されることが多く、そうした従業員の気質は当社グループならではの価値提供を支えてきた最たるものです。その一方、「地味でおとなしい印象」を指摘される傾向にあるのも事実です。真面目さが時として、失敗を恐れて挑戦を回避する気持ちにつながっていないかを見つめ直していく必要があります。

私自身の話をすると、私は28歳で新日本空調に入社し、設計部で建築設備について一から学んだ後、リニューアル事業に長く携わってきました。当時、リニューアルの担当者は営業から設計・施工までワンストップで手掛けていた時代です。数十億円単位の規模感のある仕事を任せてもらい、非常にやりがいがありましたが、人一倍失敗もしました。配管交換時の漏水トラブルで、大型の商業ビル一棟を全館停電させてしまったこともありました。「もうこの会社にいられないのでは…」と思ったことも、一度や二度ではありません。

そうしたときに助けてくれたのは、社内の上司や同僚だけではありませんでした。日頃密に連携をとり、信頼関係を培ってきたお客様が、救いの手を差し伸べてくれたからこそ、困難な状況も切り抜けていくことができました。現場の一手担当者時代から築いてきた人と人のお付き合いは、経営を預かる今日まで途切れることなくつながっています。

自分がこうした経験を持つがゆえに、従業員にはもって「失敗することの価値」に目を向け、臆せずに挑戦を重ねてほしいと思います。途中で諦めず、誠実に対処して次につなげていく限り、失敗は単なる失敗ではなく、成長への貴重な機会となります。

2023年度、当社グループは今、長期ビジョンの実現に向けた第2ステップとなる中期経営計画「SNK Vision 2030 Phase II」が動き始めました。これからの当社グループを、さらには社会を担う従業員には次の4つを期待します。

- ①「持続可能な社会・環境への貢献」：当社グループが果たす社会的責任に意識を深め、能動的に参画していくこと。
- ②「柔軟性と適応力」：新しい技術やビジネスモデルが次々と生まれ、既存のものが陳腐化していく中、変化に即応し、新しい知識やスキルを習得すること。
- ③「多様性への理解と尊重」：多様なバックグラウンドを持つ人々の価値観を尊重すること。意見の相違に柔軟に対応し、エクイタブルでインクルーシブな職場環境をつくり上げること。
- ④「チームワーク」：チームで協力し、お互いの専門知識・スキルを共有することで、より高い成果を目指すこと。

新日本空調グループは、変わらない空調のパイオニア精神と技術者魂のもと、変わり続ける時代のニーズに高い技術力で応えていきます。グループ従業員の総力を結集し、環境ソリューションのリーディングカンパニーとして、お客様と社会とともに持続的成長を目指し続けます。

